

令和6年度 シラバス

愛媛県宇和島東高等学校津島分校

教科	外国語	科目	英語コミュニケーションⅡ	単位数	4	学年	2年	類型	カレッジコース
教科書	Vivid English Communication II (第一学習社)			副教材	Vivid English Communication II WORKBOOK(第一学習社)				

学期	月	単元名	指導項目、内容	重視する評価の観点			学習のねらい・学習の目標・評価の観点		
				知	思	主			
1 学期	4	Lesson 1 Japanese Athletes and English	好きなアスリートの紹介		◎	○	学習のねらい 1学期は、進行形、受動態、seem to不定詞、It is 形容詞 that節等の文法事項について学習し、理解を深めます。また、単語集を利用した単語テストの実施により、語彙力の強化を図ります。2学期は、関係代名詞、関係副詞、分詞構文、副詞節等の文法事項について学習し、理解を深めます。3学期は、原型不定詞、仮定法、複合関係詞等の文法事項について学習し、理解を深めていきます。		
			感謝の気持ちを表す		○	◎			
			英語スキル向上について		○	◎			
	5			進行形		◎		○	
				受動態		◎		○	
		Lesson 2 Our Beloved Yellow Fruit	好きな果物について話す	中間考査	◎	◎			
			バナナの危機について理解する		◎	○			
	6			対話文の内容を理解する		◎		○	
				好きな果物について質疑する		○		◎	
				seem to ~		◎		○	
	7	Lesson 3 Preparing for Potential Risk	世界の自然災害について理解する	期末考査	◎	◎			
					◎	◎			
			避難所生活について討論する		○	◎			
			ハザードマップについての発表		◎	○			
2 学期	8	Lesson 4 To Make a More Open Society	対話の内容を理解する		◎	○	学習の目標 幅広い話題について、聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝える能力を伸ばすとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てます。		
			開かれた社会に必要なこと		◎	○			
			イベントのポスター作成		○	◎			
			S+V+O+O(名詞節)		◎	○			
	9		関係代名詞		◎	○			
		Lesson 5 True Love between a Cat and a Dog	ペットについて話す	中間考査	◎	◎			
			会話のセリフを考える		○	◎			
			関係副詞		◎	○			
	10	Lesson 6 A Society with Drones	ドローンの使い方について			◎		○	
			メリットと問題点を考える			○		◎	
			今後の展望を理解する			◎		○	
			分詞構文		◎	○			
11	Lesson 7 "Cloning" Cultural Property	美術館について話す	期末考査	◎	◎	外国語で情報や考えなどの概要や要点、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。			
		好きな絵について話す			○		◎		
		文化財や芸術作品を紹介する			◎		○		
		副詞節		◎	○				
3 学期	1	Lesson 8 Peace Messages	平和メッセージを理解する		◎	○	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を使ってコミュニケーションを図ろうとしている。		
			世界の指導者に伝えたいこと			○		◎	
			原型不定詞		◎	○			
			同格のthat		◎	○			
	2	Lesson 9 Our Local Community	地域の良い点と悪い点			◎		○	
			卒業後の希望			○		◎	
			仮定法		◎	○			
	3			学年末考査	◎	◎		備考	
		Lesson 10 The Underside of Wildlife Tourism	環境問題について考える			◎			○
			倒置		◎	○			
			複合関係詞		◎	○			

※評価の観点 知：知識・技能 思：思考・判断・表現 主：主体的に学習に取り組む態度

◆学習方法のポイント

【英語上達のポイント】

- 既習の内容を土台にして、新たな学習内容を身に付けていきます。
- 新出単語は範読をよく聞き、しっかり声に出して発音をしてください。
- 本文は意味の区切りを意識して、内容を考えながら発音することを心がけてください。
- 英文を英語のまま理解することを心がけましょう。内容が速く理解できます。
- 基本的な文法事項は確実に覚えてください。表現活動にも役立ちます。
- 各種検定に挑戦しましょう。普段の授業で力をつけ、自分の英語力を試してみましょう。

【授業】

- 週に4時間の授業があります。
- 各レッスンの授業の進め方は、だいたい次のようになります。
 - ①新出単語、本文の範読、読みを行います。
 - ②新出語彙、重要構文、文法事項、本文の内容を確認します。
 - ③練習問題、ワークを解きます。
 - ④週に1回、Weekly Testを行います。このテストは考査の範囲にも含まれます。
- 大きな声での音読や挙手など、積極的な授業態度で取り組んでください。
- 指示された課題を確実にやり、必ず予習をして授業に臨んでください。
- 板書やその他の重要事項をノートし、学習内容を明確に把握し、重要事項の定着を図ってください。

【家庭学習】

- その日のうちに授業の復習をし、授業内容を定着させてください。
- 次回学習するLessonの単語の発音・意味と和訳を必ずしておきましょう。
- 課題テスト、小テストについて、テスト対策の学習を計画的に行ってください。
- 学習した範囲の音読もしながら、予習・復習していきましょう。

【定期考査】

- 授業で学習した内容が基本になります。
- 本文の内容把握、重要構文、新出語彙などを再確認しましょう。
- 目標を定めて定期考査に臨みましょう。

◆評価の方法、基準

評価の方法	①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に学習に取り組む態度の三観点から評価します。出席状況、授業態度、ノートの整理状況、課題の提出状況、課題テスト、小テスト、定期考査をもとに総合的に評価します。	
評価の基準	1 学期	中間考査、期末考査(主に①②の観点から評価します。) 出席状況及び学習意欲(主に③の観点から評価します。) ノートの整理状況(主に③の観点から評価します。) Weekly Test、課題提出状況(主に①と③の観点から評価します。)
	2 学期	中間考査、期末考査(主に①②の観点から評価します。) 出席状況及び学習意欲(主に③の観点から評価します。) ノートの整理状況(主に③の観点から評価します。) Weekly Test、課題提出状況(主に①と③の観点から評価します。)
	3 学期	学年末考査(主に①②の観点から評価します。) 出席状況及び学習意欲(主に③の観点から評価します。) ノートの整理状況(主に③の観点から評価します。) Weekly Test、課題提出状況(主に①と③の観点から評価します。)
	学 年	1学期の成績、2学期の成績、3学期の成績の平均